



明けましておめでとうございます

〔物事を偶然ととらえるか、奇跡ととらえるか〕

1月はじめに本屋で、欲しい本を手にした時その横に並んでいた本の1ページ目に書かれていた言葉です。

「偶然に手にふれたもの・偶然に目に入ったもの・偶然に出合った事柄・偶然に出逢った人」この偶然の出会いを奇跡ととらえたとき、全てが価値あるものになるような気がします。出合った不幸（病い）でさえ、感謝できるかもしれません。

ホスピスという小さな集いの中での出会いも、偶然からの奇跡と心に受け留めかわりあって生きていけたらいいですね。
(橋詰)

11月の例会報告

「死を受け入れてどう生きるかⅡ」＜思いの世界と現実の世界＞

講師：天野義裕（真宗大谷派覚照寺住職）

日常の中で私たちが「死」を意識する時はどんなときだろうか。自分が病気になったとき？ 家族が重い病気になったとき？ それとも年齢を重ねていったとき？ また、死を意識するのはなぜなのだろうか。「まだ死にたくない」という自分の思いなのか、それとも未知の世界への不安なのか。

今日の話の中で私が一番うれしかったのは『仏様と二人連れの人生、丁度よくないはずがない』という言葉。仏様と二人連れ。自分が生きて行く日々の中に、いつも仏様がいてくださるなんて、なんと心強いことか。私は今日もらったこの安堵を子どもたちにプレゼントしたい。私は仏様ではないけれど「いつも母がついているよ」と。
(N)

手縫いの会報告

市民病院の看護婦さんから入院している子どもたちの氷のう袋や湯たんぽ袋用にと、アンパンマンの楽しい模様の布が届きました。闘病中の子どもたちのささやかな喜びと励みのお手伝いになれば・・・と大急ぎで縫いました。

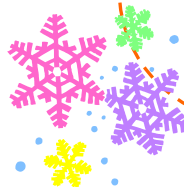
病院から依頼されるものの量も、どんどん増えています。ほんの少しのおひまな時間を私たち手縫いの会にご協力いただけませんか。よろしく願いいたします。(H)

「手縫いの会」連絡先：服部0564-23-1263；勝川0564-25-6961

11月14日	：雑巾	70枚	→	愛知病院
11月17日	：ストマ	10枚	→	愛知病院
12月12日	：雑巾	50枚	→	愛知病院
12月12日	：車椅子用カルテ袋	30枚	→	市民病院
	：尿器入れカバー	35枚		
12月18日	：雑巾	50枚	→	愛知病院
12月20日	：車椅子用カルテ袋	20枚	→	市民病院
	：小児科用湯たんぽ袋	6枚		
	：小児科用氷のう袋	6枚		
12月6日	：雑巾	100枚	→	市民病院
	：雑巾	50枚	→	愛知病院

以上お届けしました。

男川小学校5年生より
頂きお届けしました。



12月の例会報告

「延命治療とは何か」

＜どこからが延命治療か＞

講師：鈴木久三岡崎市民病院 副院長

大変重いテーマであった。

講演は延命の言葉の意味から始まり、cure と care は区別できない。延命治療には「意味ある延命」と「徒な延命」とがある。徒な延命治療は命を縮めることが多い。患者はしっかり医師と話し合い、病を把握する必要がある。何が徒な延命治療であり本当の治療であるかを解く鍵は患者自身の QOL の中にある。とスライドを駆使しての丁寧なお話であった。が、一般論ではなく現状を踏まえての話を伺えたらともどかしさも感じた。講演後心打たれた三人の方の話があった。二人は死を宣告され病と闘っていらっしゃる方。「延命治療は拒否すれば受け入れてもらえるのか」医師とゆっくり話せないの質問した、と……。もう一人は「借りた命であり、これは返さねばならないと思って今日を生きている。魂に寄り添って治療をして欲しい」そして車椅子で参加された87歳になられる女性は「すでに尊厳死・遺言を書いて自分の意志を子どもたちに伝えてあるが、理性では解っていても近づく死への恐怖がある。その点、どう思われますか？」……。まさに今、例会の圧巻であった。



時間切れで発言できなかった方が、家族が入院中で院内の掲示板を見て参加したが「医師と話ができない」と講演と現実のギャップを訴えてらしたことを付け加えさせていただきたい。(H)

◆ 報告

- ・ 11月28日（火）竜美ヶ丘会館で行われた生協交流会に参加しました。
- ・ 12月4日（月）男川小学校5年生との交流会に小野・橋詰が出席しました。
5年生の皆さんからは、歌のもてなしを受け、雑巾をいただきました。
(左ページ手縫いの会の報告を見てください。)
- ・ 12月23日（土）岡崎市民病院クリスマスコンサート車椅子介助ボランティアに8人が参加しました。



◆ ご案内

【2月】

例 会：日 時 2月16日（金）10時～12時 竜美ヶ丘会館 301号

テーマ 「終末期の在宅ケア」 家で終末を迎えるにはどのような準備が必要でしょうか。
岡崎市医師会・歯科医師会・訪問看護ステーションなど、いろいろな所で活躍してる方たちをお迎えし、情報交換をします。

手縫いの会：日 時 2月13日（火）10時～12時 県立愛知病院看護相談室

つどい：日 時 2月28日（水）12時30分～15時30分まで 橋詰宅

患者や家族・遺族の方たちを対象に何でも話せる場を提供しようと前回11月と1月に行いました。この出会いを大切にして、話したり聞いたりする中で、さがしているもの、求めているものを自分で感じとるためのつどいです。参加費は1,000円です。

ご一緒くださる方は、愛知大学の木村易先生です。

参加ご希望のかたは 橋詰：0564-53-3100 小野：0564-24-8518 までご連絡ください。

【3月】

手縫いの会：日 時 3月13日（火）10時～12時 県立愛知病院看護相談室

例 会：日 時 3月16日（金）10時～12時 勤労福祉会館

テーマ お茶とお菓子で会員同士の交流を行います。

【4月】

手縫いの会：日 時 4月10日（火）10時～12時 県立愛知病院看護相談室

